

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	2011年 7月21日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 〒617-8550 京都府長岡京市馬場図所1番地	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 三菱電機株式会社 京都製作所 所長 阿部 正治

環境マネジメントシステムの名称	三菱電機株式会社京都地区環境マニュアル (ISO14001:2004・JISQ14001:2004)
適用範囲	三菱電機株式会社京都地区
導入年月日	1998年 6月 22日
認証番号	登録番号: EC98J1021
基本方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業活動を通じ、環境汚染の予防及び環境保全の向上に努める。</li> <li>2. 地域住民・関係諸官庁とのコミュニケーションを密にし、地域の環境保護・地域社会との調和と貢献に努める。</li> <li>3. 環境マネジメントシステム、環境パフォーマンスの向上を図り、継続的な改善をする。</li> <li>4. 環境に関わる法令・協定等の要求事項を順守する。</li> <li>5. 環境目的・目標及びプログラムを策定し、環境汚染の予防を推進する。</li> </ol>
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	<p>2010年度環境マネジメントプログラム目標値</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生産時CO2排出量の削減: 334t-CO2/2010年度(理論排出削減量)</li> <li>2. 製品物流でのCO2削減: 0.079t/t(製品1tあたりの輸送t-CO2排出量)</li> <li>3. 製品使用時のCO2削減。(製品機種毎に削減目標を設定)</li> <li>4. 製品の資源投入量の削減。(製品機種毎にプラスチック・金属材料の削減目標を設定)</li> <li>5. 使い捨て包装材の使用量削減。(製品重量あたりの包装材使用量を2008年度比3%を改善。)</li> <li>6. 省エミッション率: 0.13%以下(総排出量当たりの直接埋立廃棄物の削減)</li> <li>7. 廃棄物生産高原単位: 0.119t/億円以下(生産高当たりの廃棄処分量の削減)</li> </ol>
目標を達成するための取組の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生産時CO2排出量の削減: 最新高効率機器(変圧器、エアコン、冷熱機器)への更新を実施。</li> <li>2. 製品物流でのCO2削減: 製品輸送首都圏(関東)地方(中部、九州)への直送輸送の実施。</li> <li>3. 製品使用時のCO2削減: 製品に使用する光源のLED化、待機電力の低電力化のために製品設計見直し・改善を実施。</li> <li>4. 製品の資源投入量の削減: 主要部材(プラスチック、金属材料)の軽量化、肉厚の薄型化するために製品設計見直し・改善を実施。</li> <li>5. 使い捨て包装材の使用量削減: 包装材の削減、小型化軽量化するために製品包装の設計見直し・改善を実施。</li> <li>6. 省エミッション率: 生産工程で発生する破損ガスの再資源化処理の実施。</li> <li>7. 廃棄物生産高原単位: 手分別による廃棄処分量の削減。プラスチック・ガラス等々の再資源化先の開拓。</li> </ol>
目標を達成するための取組の進捗状況	<p>2010年度目標に対する進捗</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生産時CO2排出量の削減: 471.5t-CO2/2010年度(理論排出削減量)</li> <li>2. 製品物流でのCO2削減: 0.067t/t(製品1tあたりの輸送t-CO2排出量)</li> <li>3. 製品使用時のCO2削減: 対象製品機種で全て目標を達成。</li> <li>4. 製品の資源投入量の削減: 対象製品機種でプラスチック・金属材料の削減目標を達成。</li> <li>5. 使い捨て包装材の使用量削減: 対象製品機種で全て目標を達成。</li> <li>6. 省エミッション率: 0.06%(総排出量当たりの直接埋立廃棄物の削減)</li> <li>7. 廃棄物生産高原単位: 0.114t/億円(生産高当たりの廃棄処分量の削減)</li> </ol>
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	2010年度環境マネジメントプログラムで策定した、目標値は全て達成できた。
事業活動に係る法令の遵守の状況	2010年度に計画した順守評価項目に基づき、四半期毎に「順守状況を確認・報告」を実施。2010年度実績は、行政報告・届出は滞りなく実施済み。行政より指摘・指導はありませんでした。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	<p>環境マネジメントシステム・環境パフォーマンスの見直しとレビューを毎年、年度末に実施している。以下、見直し内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 内部環境監査の結果に基づく、各部門の管理レベル向上を検討。</li> <li>2. 法的要求事項及びその他の要求事項が順守状況の評価と確認。: 順守できている。</li> <li>3. 苦情を含む外部の利害関係者からのコミュニケーションの有無を確認。: 特になし。</li> <li>4. 環境パフォーマンス、目的及び目標の達成状況の確認。: 全て目標をクリア。</li> <li>5. 環境パフォーマンス、目標に対する不適合・是正処置の有無の確認。: 不適合分、全て是正完了。</li> <li>6. 経営者による見直し。: 遵法の徹底、当社環境計画(2009~2011年の3ヶ年計画)目標の必達を指示。</li> </ol>

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。